

夢を運ぶ

コッペル号やDC92、ホジ3!!



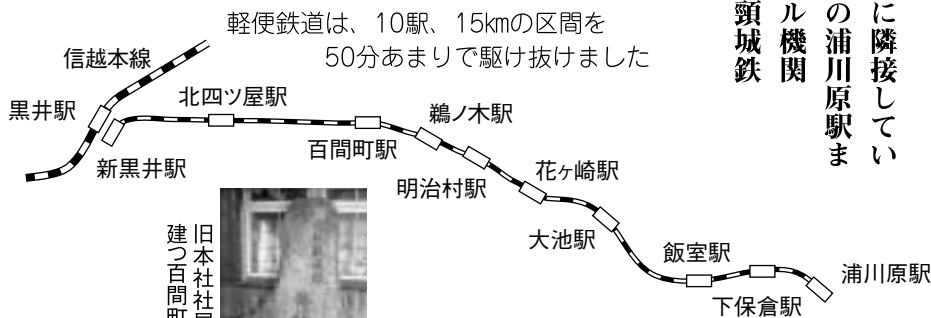
蒸気機関車(コッペル号)

かつて、信越本線の黒井駅に隣接していた新黒井駅から、ほくほく線の浦川原駅まで、蒸気機関車や、ディーゼル機関車、ディーゼル気動車が走る頸城鉄道が通っていました。

頸城鉄道は、「軽便鉄道」と親しまれ、頸城平野の真ん中、美しい田園風景を走り続けたこの鉄道は、通学・通勤、また、米や野菜の運搬に住民に利用されていました。

現在は、活躍してきた車両は頸城区百間町にある機関庫で保存されており、地域のお宝として、再び活躍することを待ちわびています。

「軽便とは…今の言葉で言い換えれば、「簡易」。軽便鉄道は、容易で簡単な鉄道のこと。」



日本社社屋のわきに建つ百間町駅跡の碑



頸城鉄道とその車両のあゆみ

大正3年	新黒井〜下保倉間が開通
大正5年	下保倉〜浦川原間が開通し、全区間が開業
昭和41年	コッペル号お別れ
昭和43年	新黒井〜百間町間、飯室〜浦川原間が廃止
昭和46年	全線廃止
昭和47年	ディーゼル機関車や客車など8両を、神戸の曾我部さんが買い取り、保管
昭和52年	コッペル号が、西武鉄道で謙信号として復活
平成16年	コッペル号が役目を終了し、頸城自動車が保管
	曾我部さんの協力により、保管していた8両を旧頸城村が譲り受ける

百間町の機関庫に保存されている車両など

- 蒸気機関車 (コッペル号)
- ディーゼル機関車 (DC92)
- ディーゼル気動車 (ホジ3)
- 客車、貨物車 4両
- 転車台、レールなど

ディーゼル機関車など8両が

33年ぶりに里帰り

時代の変化と、車社会の進展により、昭和46年に57年間におよぶ軽便鉄道の歴史を閉じました。

活躍してきた車両のうち、蒸気機関車(コッペル号)は、昭和47年から昭和52年まで西武鉄道で活躍。その後、(株)頸城自動車で保管されていました。そのほかのディーゼル機関車(DC92)、ディーゼル気動車(ホジ3)などについては、その行方が分からず、解体されたのではないかとの情報も流れていました。



六甲山の山中から車両を引き出す様子

平成15年、東京の鉄道研究家から、「それら車両は、神戸の曾我部さんが六甲山の山中のトンネル内で保存されている」との連絡がありました。それを聞いた『くびきのお宝のこす会』の皆さんは、旧頸城村、旧頸城村商工会と連携し、車両の故郷帰還への熱い思いを曾我部さんに伝え、曾我部さんのご理解のもと、無償で譲渡していただくことになりました。

六甲山の山中では、8両の車両などが保管されていました。トンネル内で保管されていた車両は、風雨から守られなかったため、非常によい状態で、復元可能な状態にありました。

平成16年11月、車両の搬出が行われましたが、六甲山の山中ということもあり、搬出作業は困難を極めました。搬出にかかる手作業は、『くびきのお宝のこす会』の皆さんや、神戸の鉄道愛好家の皆さんが行いました。5日間にわたる搬出作業が終了し、奇跡的な帰還となったのです。

これだけの保存状態の良いディーゼル機関車やディーゼル気動車は全国的にもまれで、鉄道愛好家では、注目の車両となつていきます。現在は、蒸気機関車も含め、実際に動く車両はありませんが、『くびきのお宝のこす会』では、比較的再生が簡単な、ディーゼル機関車やディーゼル気動車の再生に期待しています。

地域の資源をいかして まちの活性化と観光の振興を

「頸城区にも全国に発信すべきものがあるのではないか」この思いから平成15年に地域おこしグループとして『くびきのお宝のこす会』を立ち上げました。

のこす会では、頸城鉄道の車両保存のほか、美しい回遊式日本庭園が広がる「瀧本邸」、400年の樹齢のしだれ桜がある「栄恩寺」などと連携して、イベントを行いながら、頸城区を紹介しています。また、土の中に埋められていた、頸城鉄道の転車台を掘り起こしたほか、神戸の曾我部さんが保存していた車両の運搬作業を行ったり、瀧本邸の管理・整備をしたりするなど、様々な活動に取り組んでいます。イベントなどでは、多くの人がお宝を見に来てくれるので、「この資源をいかせる。地域の活性化につなげていける」と確信を持っています。

今、やってみたいこと…それは、大池の周辺で、コッペル号やDC92、ホジ3を走らせること。そのためには、エンジンや外装の修理をしなければなりません、大きな観光資源の一つとなることは間違いありません。皆さんと協力して実現したいと思っています。



くびきのお宝のこす会
会長 下間 一久さん
(頸城区宮原)



ディーゼル機関車(DC92)と新黒井駅
昭和29年に作られたディーゼル機関車。
全線廃止まで活躍しました



ディーゼル気動車(ホジ3)
客車にエンジンをのせて気動車に改装した、全国的にも例を見ない車両